

# ケアプロ会社概要

Care  
Carepro  
Your Health, Our Mission.

AH

ケアプロでは  
一緒に働く仲間を随時募集中。  
是非採用ページをご覧ください。



ケアプロ株式会社 Carepro, Inc.

〒164-0011  
東京都中野区中央3-13-10  
JOY HAYASHI 3F

TEL:03-5389-1212 (受付時間 平日10~18時)

ケアプロ 検索  
<http://carepro.co.jp/>



2021年7月版

# ケアプロとは、革新的なヘルスケアサービスの「ケア」と、プロデュースの「プロ」の造語です。

## ごあいさつ

ケアプロは、2007年12月12日に創業して、14年目を迎えます。

創業した2007年は、自己採血による簡易検査の法的位置づけがグレーであり、事業展開に困難を伴いました。しかし、政財界へのアドボカシーを続けた結果、自己採血簡易検査の規制改革を実現することができました。

そして、2011年に東日本大震災の支援活動では孤立死の問題に直面したことをきっかけに、2012年より訪問看護を開始しました。訪問看護師不足を解決するために、これまで難しいとされてきた「新卒訪問看護師」の採用と育成の取り組みを、聖路加国際大学や全国訪問看護事業協会とともに展開しています。

さらに、2020年に新型コロナウイルス感染症に直面する中で、交通弱者に対する外出支援プラットフォーム「ドコケア」とサッカーイベント救護の「サッカーナース」を開始しました。外出やスポーツ等のイベントが安全・安心に行われるよう取り組んでいます。

これからも誰もがあたりまえに健康になれる社会の実現に向けて全力を尽くしていきます。

ケアプロ株式会社  
代表取締役社長  
看護師・保健師

川添 翔志



## 最近の取り組み



### 明治安田生命様と健診受診率向上に向けて業務提携

テレビコマーシャルでおなじみの「みんなの健活プロジェクト」にて、全国47都道府県で年200回規模のセルフ健康チェックを実施し「けんしん促進」を目指します。



### 日本ブラインドサッカー協会様との提携

視覚障害者の「おたすけ電話相談窓口」と「ドコケア」、日本ブラインドサッカー協会主催大会運営と「サッカーナース」がそれぞれ提携することになりました。

## MISSION

## VISION

## VALUE

## 沿革

私たちケアプロは、次の10年を見据えて社会課題を解決し続けます。

2030 国連「持続可能な開発目標SDGs」／2025年問題（団塊世代が75歳以上）／2021 東京オリンピック・パラリンピック開催

2021.05	株式会社エイチ・ユウ・ジーを事業継承
2021.04	老人保健健康増進等事業で、訪問看護の事業継続計画(BCP)のひな型リリース
2021.03	ケアプロ訪問看護ステーション東京 南台サテライト開設
2020.09	サッカーナース公式サイトオープン
2020.06	外出支援プラットフォーム「ドコケア」開始
2020.04	ケアプロ訪問看護ステーション東京 足立慶友サテライト開設
2018.12	大阪事務所を開設
2020.04	新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言
2017.03	ケアプロ訪問看護ステーション東京が機能強化型訪問看護ステーションに認定
2016.05	ケアプロ在宅支援センター東京開業 ※居宅介護支援事業所
2016.03	新卒訪問看護師のための包括的人材育成ガイド発行
2015.01	検体測定室「小田急ケアプロ登戸店」オープン
2014.04	「検体測定室」第一号に中野店登録
2014.04	聖路加国際大学・全国訪問看護事業協会と新卒訪問看護師人財育成のための「きらきら訪問ナース研究会」発足
2014.01	新卒・新人訪問看護師応援サイト「CAN-GO.com」オープン
2013.06	第1回日経ソーシャルイニシアチブ大賞にて国内部門賞 受賞
2013.03	ケアプロ訪問看護ステーション東京 足立ステーション開設
2012.05	ケアプロ訪問看護ステーション東京 中野ステーション開設
2011.03	東日本大震災
2011.01	第1回社会イノベーター公志園にて審査員特別賞 受賞
2010.08	ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京との協働開始
2008.11	常設1号店(中野店)オープン
2008.09	NEC社会起業塾に選出
2007.12	ケアプロ株式会社創業
2007.10	ケアプロの事業プランが東京大学医療政策人材養成講座で優秀成果物特賞 受賞
2008.09	リーマンショック

- 予防医療事業部
- 在宅医療事業部
- 交通医療事業部
- 全社

# ◆予防医療事業部

健診弱者を救うため、法律を変えた  
「ワンコイン健診（現セルフ健康チェック）」。  
1検査3分から、その場で分かる。  
全国出張して、累計利用者数は50万人以上に。



## 社会背景

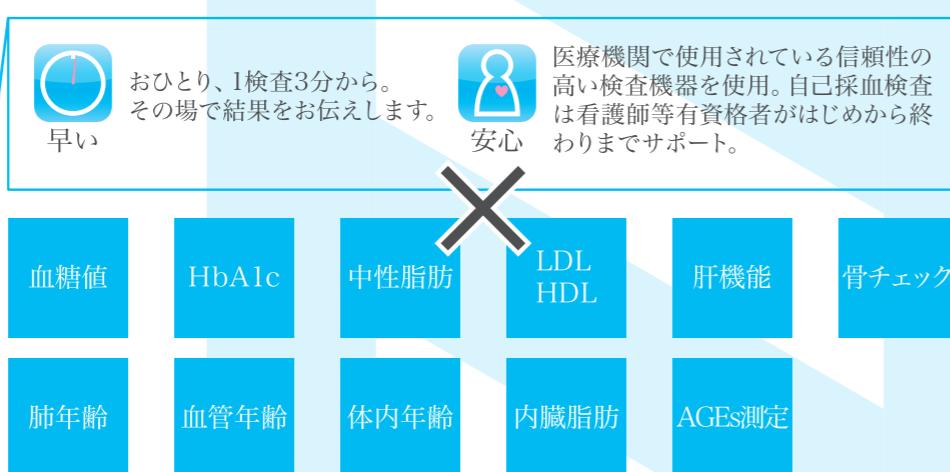
～1年以上、健康診断を受けていない人が3600万人以上～

近年、糖尿病をはじめとした生活習慣病が増加し、死因の6割を占めており、その予防対策の拡充が求められています。一方、その予防に不可欠な定期健診を1年以上受けていない日本の「健診弱者」は専業主婦（夫）やフリーター、退職者、自営業など、3600万人以上にのぼります。その未受診理由は①時間がかかる②費用が高い③検査に不安があるとなっています。このような状況からもたらされる疾病の発見の遅れは個人の健康問題にとどまらず、医療費増加という社会問題にもつながっています。生活習慣病に関する年間医療費は医療費全体の3割を占め、10兆円以上にものぼります。

## 私たちの解決法

～ちょっと立ち寄り、ちゃんと健康～  
予約や保険証が不要の、気軽に検査できる「セルフ健康チェック」を行い、ケアプロ健康サイクルをまわすことで、生活習慣病の予防と医療費抑制を図ります。

### ＜ケアプロ健康サイクル＞



一人ひとりの生活習慣病予防を通じて医療費抑制につなげる



### ◆医師のいない環境での自己採血検査を提供した日本初の企業

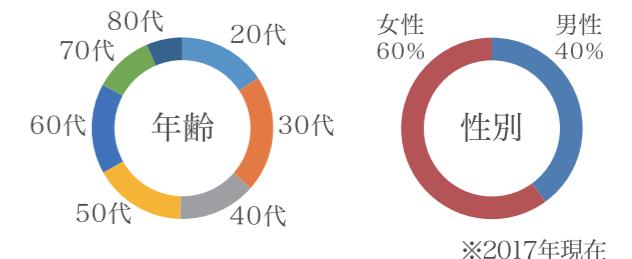
「自己採血検査」とは、看護師等の指導のもと、利用者が専用器具で採血し、血糖値や善玉・悪玉コレステロール、中性脂肪などを調べるものです。ケアプロが設立された2007年は、自己採血によるセルフ健康チェックサービスの法的位置づけが不明瞭であり、「グレーゾーン」として扱われていました。こうした中で、2013年3月の「産業競争力会議」を契機に、2014年4月には厚生労働省から「検体測定室に関するガイドライン」が策定され、同年4月10日、ケアプロは「検体測定室」第1号の開設者として登録されました。現在、日本には検体測定室を持つ施設が1,800以上登録されています。

## セルフ健康チェックご利用者様の属性

- 健診未受診者32.5%
- 要受診の値が出た割合35.0%

### ご利用者様の声

「こんなに簡単にわかるの！」(20代女性/中性脂肪)  
「以前メタボと言われて」(50代男性/HDL・LDL)  
「去年骨折してから気をつけてる」(60代女性/骨チェック)



## 事業展開

### ◆企業様・地方自治体様との取り組み【Business to Business to Customer】



- ＜企業様・地方自治体様のメリット＞
- 集客・販売促進
  - 福利厚生「オフィスケアプロ」
  - 保険者の医療費抑制
  - 顧客満足度の向上
  - CSR・社会貢献
  - 住民の健康寿命増進

### ①大型商業施設グループと食品メーカーとタイアップ

商業施設9店舗で食品メーカー15社をサポート。大掛かりな健康フェアへ発展。味と健康を両立した食品を、ケアプロのセルフ健康チェックと共にお客様へご紹介。



### ②明治安田生命様と「セルフ健康チェック for みんなの健活」事業開始

従業員の健康意識向上とお客様・地域社会の健康増進を支援。  
2019年4月から全国の支社等で年間約200回の血液検査を実施予定。



### ③東京都北区(健康推進課)

若い世代の健康づくり意識を高めよう！20～40代限定の健康チェックを開催。  
若く健康な時期からの意識改革に加え、子供世代への生活習慣改善への波及効果も期待。



ケアプロHPには、様々な業種の企業様とのお取組み事例を多数掲載しております。  
<http://carepro.co.jp/preventive/corporation/archives/>  
(PC/スマートフォン各種対応)



### 【過去の取り組みのご紹介】直営店舗の運営【Business to Customer】



写真左：ケアプロ中野店  
(2018年7月閉店)

写真右：小田急ケアプロ登戸店  
(2019年3月閉店)

### ◆2020年12月末時点での到達点

セルフ健康チェックを受けた延べ人数

520,374人

イベント開催場所

3,000カ所以上

取引企業・団体等

340カ所以上

エリア実績

47都道府県

### ◆2011年「健診弱者白書」の報告

2011年までにケアプロをご利用された被験者情報から、「健診弱者」の実態と「セルフ健康チェック」の効果について分析調査を行い、問題の構造化および可視化によるその解決方法の示唆を得ました。

# 在宅医療事業部

「在宅医療の課題を解決し、"私らしくいきたい"を支える社会を創造する」をミッションに掲げ、地域で暮らす様々な方にサービスを提供しています。新卒や若手看護師の訪問看護への挑戦を支援し、現在、総合訪問看護ステーションのモデル実現にチャレンジしています。

## 社会背景

～世界に類を見ない、少子超高齢多死社会を救う～

現在、高齢化の進展と死亡者数の増加に伴う介護需要・医療需要の増加が深刻となっています。そして、高齢者数・死亡者数の増加は2040年まで続くと推計されており、高齢者世帯、独居高齢者世帯、老々介護、介護離職…このような問題は、今後より深刻化していきます。

医療依存度が高まる一方で、医療費の高騰等により、病床数削減及び在院日数の短縮が進められており、今後、高齢者だけでなく幅広い年代で、医療依存度の高い在宅療養者が増えていくと考えられています。

日本の在宅看取り率は15%～20%である一方で、「在宅で最期まで過ごしたい」と望んでいる人は約70%いると言われており、自分の望んだ人生を選択できているとは言えない現状があります。

また、訪問看護ステーション数は2020年には12,000箇所以上と、2010年から2倍以上に成長しているのに対して、毎年立ち上げ数の約半数が休止や閉鎖になっており、この背景には小規模事業所が約半数を占めている状況が原因であると言われています。

## 私たちの解決法

～社会課題への「解決策」を、事業モデルとして生み出す～

「全ての人が"私らしくいきたい"を叶えられる社会を実現するモデル」の実現と普及を図ります。

## ▼新卒訪問看護師をはじめとする多様なキャリアの実現

- ・新卒訪問看護師を採用し、育成し続けることで、新卒訪問看護師のキャリアパスを創りあげる。
- ・新卒や若手から訪問看護ができるることを発信することで、訪問看護にチャレンジする看護師を増やし、訪問看護師不足の解消を図る。

## ▼"総合" 訪問看護ステーションの実現

大規模で"総合的"な訪問看護ステーションを実現することで、利用者とスタッフ双方の"私らしくいきかた"を追求する。

- ・新卒からベテラン、看護師やセラピスト、ケアマネなど様々な強みを持つスタッフが利用者に総合的にかかわることで、多様な在宅ケアを提供することができる。
- ・医療依存度の高い方や複雑な課題を抱える方にも対応し、一人でも多くの方の「家で暮らしたい」「私らしくいきたい」を支える。
- ・大規模化により、夜間待機対応の分散や休みやすい体制の実現など、働きやすい組織の実現、認定看護師等の資格取得支援・就学支援などのキャリア支援、副業・産育休などライフステージへの支援など、多様な働き方を提案できる。
- ・大規模化による安定した経営と、業務効率化、さらなる待遇の充実をはかり、継続的な事業運営が実現できる。



## 住み慣れた地域で最期まで暮らせる社会の実現

### ◆2020年11月時点での状況

年間利用者数

約500名

常勤換算看護師数

43名

看護師男女比

男性4:女性6

新卒採用者数

18名



## 事業展開

2017年3月「機能強化型訪問看護ステーション」取得！

訪問看護ステーション2箇所、居宅介護支援事業所2箇所運営



### ＜事業モデルの3つのビジョン＞

#### 24時間365日、質の高い在宅ケアを提供

- ・正月GWも含めた24時間365日の安定したサービスで、医療依存度の高い利用者様でも安心して暮らせる在宅生活の実現
- ・質の高いサービスを求めることで、常に向上心を持って働き続けられる組織の実現

#### やりがいを持って働き続けられるための組織作り

- ・多様なライフステージのスタッフが安定して働くための福利厚生の実現
- ・ワーク・ライフ・バランスの向上・推進のための組織規模拡大と組織化の実現

#### 地域包括ケアシステムの発展に寄与できる組織作り

- ・自社だけでなく、地域の発展に寄与できるステーションの実現
- ・地域のステークホルダー、住民とのふれあい、理解を高める機会を作る

### ＜ケアプロの活動＞

#### 【新卒訪問看護師に関する活動】

##### ◆訪問看護教育テキストの刊行

全国に先駆け新卒看護師を採用・育成してきた実績を踏まえ、育成に関する書籍を発行しております。

- ・2016年「新卒訪問看護師のための包括的人材育成ガイド」 画像:左
- ・2017年「ケアプロ式新卒・新人訪問看護師教育プログラム」 画像:中
- ・2018年「訪問看護から始めるキャリア発達支援ガイド」 画像:右



#### きらきら訪問ナース研究会

<http://kirakira-visiting-nurse.com/>



#### 【訪問看護ステーション経営支援事業】

##### ◆運営コンサルティング

2015年より2年間島根県雲南市とNPO法人おっちはらボトケアプロが連携し、地方創生事業として中山間地期の訪問看護事業をビジネスモデル化し、訪問看護現場支援を実施。

2019年より2年間都内介護事業所・訪問看護事業所等へ、事業運営支援を実施。

##### ◆視察対応

希望に応じてステーションの見学、視察対応も行っています。

#### 【災害対策に関する活動】

##### ◆ホームケア防災ラボ(在宅ケア防災研究会)の立ち上げ

2016年から自社内で行っていた防災への取り組みを、2018年7月に研究会として立ち上げ。普及啓発、研究、研修を3本柱として、社外に向けての活動も開始。

#### 【訪問看護認知度向上事業】

##### ◆安田奈津紀さんとの写真展 「私らしさと、共に生きる。～我が家と訪問看護～」

訪問看護の認知度向上と人材流入の促進を目的として、フォトジャーナリストの安田菜津紀氏と、弊社看護師兼フォトグラファーの両名により撮影された、訪問看護のリアルな写真展を2015年12月に開催しました。



# ◆ 交通医療事業部

日本初の交通医療シェアリングプラットフォーム  
「ドコケア」と、サッカーイベントとサッカー好きの  
看護師をつなぐ「サッカーナース」を展開しています。



## ◆ ドコケア

### 社会背景

～交通弱者2,000万人を救う～

日本には、要介護認定者や障がい者等を含め、約2,000万人の交通弱者が存在すると言われています。

交通弱者に対する支援として、1.公的保険サービス、2.自費サービス、3.ボランティアがあります。しかし、公的保険サービスは利用範囲の制限があり、自費サービスは、一般的に利用料金が高く、ボランティアでは、介助する側がトラブルに巻き込まれるリスクが高い等の課題が残っています。

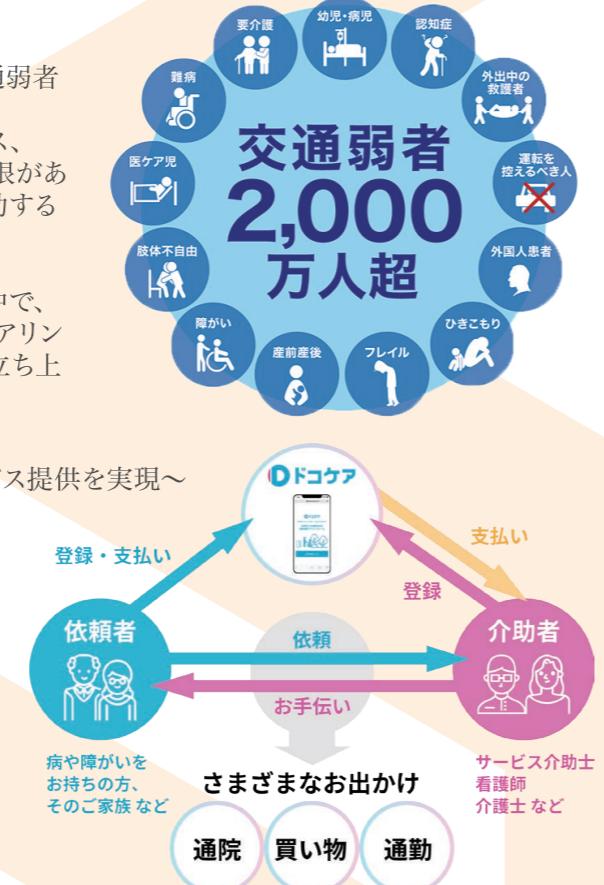
少子高齢化や介護人材の不足、老老介護といった社会課題が進む中で、病や障がいがあっても安心して外出できる世の中を実現するため、シェアリングエコノミー型のマッチングでドコでもケアを受けられる「ドコケア」を立ち上げることにしました。

### 私たちの解決法

～マッチングの仕組みで、低価格でのサービス提供を実現～

#### ドコケアの特長

- ・シェアリング型の人材マッチングで柔軟なニーズに対応
- ・スマホ一つで申し込み～支払いまで完結
- ・電話でもお申し込み可
- ・介助者は看護師などの医療従事者が多数登録
- ・1500円（税抜）からの自由な価格設定
- ・1時間からのスポット依頼が可能
- ・外出支援に特化した損害保険で、介助者に安心を提供



### 事業展開

具体的な活用のイメージ



病や障がいがあっても自由に外出できる社会の実現

### ◆2021年2月時点の状況

提供エリア

17都道府県

提携企業数

20社

提携の内容

パートナー  
募集中

- ・医療介護法人：利用者の外出支援として
- ・一般企業：介助研修、CSRの取り組み推進サポートとして

- ・自治体：スマートシティ、MaaSの実証
- ・NPO法人：タイアップイベントの企画



※「ドコケア」「サッカーナース」「交通医療」「Mobility Healthcare」は、ケアプロ株式会社の登録商標です。

D ドコケア  
<https://dococare.com/>



SOCER  
NURSE

<https://soccer-nurse.com/>



## ◆ サッカーナース

### 社会背景

～「Football for All サッカーを、もっとみんなのものへ。」～

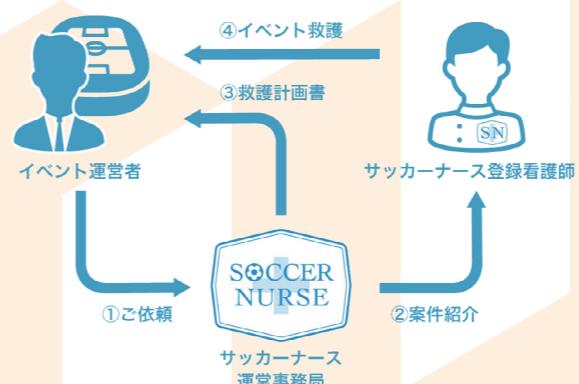
これは、日本サッカー協会(JFA)が2014年5月に行った「JFAグラスルーツ宣言」の一文です。サッカーを愛する、サッカーに携わる全ての人々が安全に、安心してサッカーを楽しめる環境を整えることを宣言しています。

平成30年の運動競技中の救急出動件数は43,000件以上、スポーツ安全保険の傷害保険支払件数は166,000件以上にのぼります。新型コロナウイルス感染症の世界的流行の中で、スポーツを再開・継続していくには、感染症対策はもちろん、スポーツ外傷・障害による地域の医療資源消費を抑える必要があります。

### 私たちの解決法

～サッカーイベントとサッカー好きの看護師をつなぐ～

サッカーを契機に、スポーツをする人・見る人が、安全に、安心してスポーツを楽しめる環境を医療面からサポートします。スポーツをささえるイベント主催者様の抱える不安や労力を軽減するために、サッカーナースが寄り添います。



#### 01 One Teamで、安全・安心を護る

サッカー好きの看護師のみが所属しており、サッカーへのリスペクトがあります。

#### 02 何でも相談できる安心感

イベント前の救護計画の立案からイベント当日の救護運営（但し、医行為に該当しない範囲での救護活動）、救護活動報告まで、まるごと行います。

#### 03 サッカーレスのプロが見守る

救急医療やスポーツ救護経験があり、またサッカーナース独自の教育プログラムによって、高い専門性があります。

#### 04 感染予防対策もサポート万全

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため政府の方針や各スポーツ団体ガイドラインに基づき、安全・安心の救護運営をサポートします。

#### 05 万が一の場合にも安心

サッカーナースは看護職賠償責任保険に加入しています。

サッカーナースが、サッカーファミリーの安全・安心を護る

### 事業展開

具体的な活用のイメージ



サッカーナース派遣人数38名（2021年7月現在）

ブラインドサッカーチャレンジカップ 2019 日本代表 対 モロッコ代表  
KPMG カップ ブラインドサッカー クラブチーム選手権 2020  
さいたま市ノーマライゼーションカップ 2020  
有限会社ファイブフォーラック主催企業対抗フットサル大会  
Santen IBSA ブラインドサッカーワールドグランプリ 2021 in 品川  
など

【導入実績】サッカー・フットサル・ハンドボール・テニスなどのスポーツで導入実績あり。



特定非営利活動法人  
日本ブラインドサッカー協会  
理事長 塩崎 史郎 様

大会運営をしているスタッフも安心・安全に  
観戦者を迎えることができるようになりました。



有限会社  
ファイブフォーラック エフスボ  
営業部 根本 祐志 様

主催者(企業様)・参加者(選手)・運営者(我々)にとりましても、  
安心・安全の三方良しのサービスであると確信しております。

# TEAMケアプロ

新卒訪問看護師から弁護士まで。  
多岐わたる人材が、ケアプロの自慢です。

2021年7月現在のケアプロ社員プロファイル(約130名)

## 出身校

東京大学、京都大学、神戸大学、一橋大学、早稲田大学、慶應義塾大学、東京医科歯科大学、日本赤十字看護大学、聖路加国際大学、北里大学、杏林大学、共立女子大学 など

## 前職

東京女子医科大学病院、東京医科歯科大学病院、慶應義塾大学病院、杏林大学病院、大田区役所、東京大学医学部付属病院、国立がんセンター中央病院、虎の門病院 など

## 社員の保有資格

弁護士、看護師、保健師、臨床検査技師、介護支援専門員、管理栄養士、日本DMAT登録隊員、総合旅行業取扱管理者、美容師、地理歴史科高等学校教員、CADオペレーター、調理師、日商簿記2級、FP技能検定2級、秘書技能検定2級、福祉住環境コーディネーター2級、剣道3段、珠算準初段、理学療法士、作業療法士、保育士、認定看護師、診療看護師 など

## 社員の多様性

- ①新卒採用実績23名（訪問看護18名、訪問看護以外5名）
- ②採用や教育、営業管理などの医療職 多数
- ③子育てや家事などをしながら働く社員 多数
- ④50代60代で働く社員 8名
- ⑤男性医療職16名、女性医療職31名

## 働き方の多様性

週4日勤務・週5日時短勤務(正社員)対応/就学支援制度・研修助成制度あり/  
学部生・大学院生インターン受入/副業・兼業許可制/産休・育休制度あり/  
子育て応援有給・介護応援有給あり/在宅勤務制度あり/子連れ出勤制度あり/時差出勤制度あり  
など活用できる制度が多数存在

## 制度・福利厚生の活用例

資格取得支援を利用し、認定看護師取得にかかる費用(授業料・入学金など)の助成を受け、通学する社員/大学院へ通いながら就業中の社員/子育て・家庭の充実のため、時短勤務の社員/学会での発表補助/小学校の学級閉鎖のため、子連れ出勤/在宅・モバイルワークの活用にWeb会議による業務の効率化・業務時間の短縮/

## 私たちと一緒に働いてみませんか？

採用に関する情報は、各事業部名横のQRコードからご確認ください。

### 予防医療事業部



社会に必要とされる  
ビジネスモデルを構築したい。  
伊藤 祐子



臨床検査技師として病院外で  
新しいキャリアを形成する。  
高橋 里史



15年間専業主婦だった私。  
ヘルスケアの明日を担う  
人材に、出会い、育てたい。  
須賀 佳枝

### 在宅医療事業部



「住み慣れた場所で  
自分らしく過ごしたい」  
という思いを支えていきたい。  
橋本 壮史



働くママとして  
日本DMAT登録隊員として。  
何もない日常からの地域での  
防災の啓蒙と教育を。  
佐藤 純



理学療法士の仕事と子育てと。  
ワークライフバランスを。  
田上 真琴

### 交通医療事業部



ドコケア サッカーナース



安全・安心の  
スポーツ環境の実現。  
スポーツ×看護を創って  
広めたい。  
古川 美帆



シェアリングエコノミー型の  
外出支援で地域の支え合いに  
新たな仕組みを。  
金 和樹



会員の方からの  
「ありがとう」を聞きたくて、  
CSの向上に取り組む  
五十嵐 佳子



# Message



2011年1月22日に行われた  
第1回社会イノベーター公志園にて  
審査員特別賞を受賞しました。



第一回公志園集合写真

社会イノベーター公志園は、時代が求めるリーダーの発掘、育成、支援をしています。内閣府や経済同友会など政財界からの後援があります。

<受賞時にいただいたメッセージ> ※ご所属等は当時のもの

素晴らしい応援と有難い  
谷川 関史

公志園 実行委員長  
武田謙吾工業株式会社 代表取締役社長  
長谷川 関史 様

おめでとうございます。  
小城 勝彦

公志園 副実行委員長  
丸善株式会社 代表取締役社長  
小城 武彦 様

嬉しいお祝い  
北城 沙太郎

日本アイピー・エム株式会社 最高顧問  
北城 沙太郎 様

Lead the Self  
Lead the Society  
野田 智義

NPO法人  
アイエスエル 理事長  
野田 智義 様

おめでとうございます。  
小城 勝彦

公志園 特別顧問  
参議院議員 文部科学省 副大臣  
鈴木 寛 様

おめでとうございます。  
下川 隆志

日本GE株式会社  
代表取締役社長兼CEO  
藤森 義明 様

無限の可能性に向かって  
これからも頑張って下さい  
細川 佳代子

NPO法人  
勇気の翼 インクルージョン2015 理事長  
細川 佳代子 様

頑張れ  
橋田 純一

株式会社九電工 代表取締役社長  
九州アジエ経営塾 副塾長  
橋田 純一 様

おめでとうございます。  
石川 治江

NPO法人  
ケアセンター やわらぎ 代表理事  
石川 治江 様

おめでとうございます。  
紅毛 鮎子

NPO法人  
せんだいみやざNPOセンター  
常務理事 事務局長  
紅毛 鮎子 様

<応援メッセージをいただいた方々> ※ご所属等は当時のもの

公益社団法人 日本看護協会 常任理事/斎藤 訓子 様  
公益財団法人 訪問看護財団 理事長/清水 かよ子 様  
全国訪問看護事業協会 元事務局長/宮崎 和加子 様  
一般社団法人日本精神科看護協会/末安 民生 様  
東京大学大学院医学系研究科  
健康科学・看護学専攻 教授/山本 則子 様  
東京女子医科大学看護学部老年看護学 教授/長江 弘子 様  
聖路加国際大学 教授/山田 雅子 様  
慶應義塾大学 教授/原 礼子 様  
慶應義塾大学看護医療学部大学院  
健康マネジメント研究科 准教授/小池 智子 様  
東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科  
在宅ケア看護学 教授/本田 彰子 様

東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科  
看護システムマネジメント学分野 准教授/深堀 浩樹 様  
在宅看護研究センター LLP 代表/村松 静子 様  
白十字訪問看護ステーション 統括所長/秋山 正子 様  
世田谷区社会福祉事業団 看護師特別参与/佐々木 静枝 様  
全国在宅療養支援診療所連絡会 会長/新田 国夫 様  
医療法人社団鉄祐会祐ホームクリニック 理事長/武藤 真祐 様  
医療法人社団悠翔会 代表医師/佐々木 淳 様  
参議院議員/たかがい 恵美子 様  
衆議院議員/あべ 俊子 様  
参議院議員/石田 まさひろ 様  
ジャーナリスト/村上 紀美子 様

<応援メッセージの例>

在宅看護研究センター LLP 代表/村松 静子 様  
訪問看護をやってみたいと思ったらそこで留まつてしまいません。迷わずチャレンジすることです。看護は実践なくして語れません。看護は実践なくして評価されません。見てあげなければ・・・なんて気負うのではなく、看護の基本に忠実に、自分を信じ、五感を奮い立たせて、自然体で向き合うと良いのです。困った時やわからない時は素直になって救いを求めてることで、新卒・新人時代にしか味わえない看護の醍醐味にめぐり合うはずです。

## メディア・講演

### 新聞・雑誌

日本経済新聞、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、  
東京新聞、日経ビジネス、週刊ダイアモンド等

### テレビ・ラジオ

NHK【おはよう日本】、テレビ東京【ガイアの夜明け】、  
TBS【がっちりマンデー!】、フジテレビ【めざましテレビ】、  
テレビ朝日【TVタックル】、テレビ東京【WBS】、  
日本テレビ【ヒルナンデス】、フジテレビ【ノンストップ】、  
フジテレビ【バイキング】等

### 学会発表

日本看護学会、日本公衆衛生学会、地域看護学会、  
在宅ケア学会、在宅看護学会、未病システム学会等

### 講演

経済同友会、日本看護サミット、朝日新聞社、  
日経 Biz アカデミー × グロービス、東京大学、  
慶應義塾大学、早稲田大学、京都大学、九州大学、  
名古屋大学、明治学院大学、帝京大学、  
東京医科歯科大学等

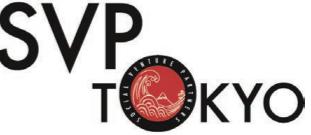
## 受賞・社会活動

- 2007年9月 東京大学 医療政策人材養成口座 優秀成果物 特賞を受賞(2007.09)  
2007年11月 慶應義塾大学 SFC Entrepreneur Award 2007 The Best New Market Award を受賞  
2008年9月 NEC社会起業塾に選出  
2011年1月 第1回社会イノベーター公志園 審査員特別賞を受賞  
2011年10月 次代を創る100人(日経ビジネス2011.10.31号)に選出  
2011年12月 日本を救う中小企業100社(Newsweek日本版2011.12.07号)に選出  
2012年1月 世界経済フォーラム(ダボス会議)グローバルシェイパーズに選出  
2012年1月 日本を立て直す100人(AERA2012.01.2,9合併増大号)に選出  
2012年3月 CSRをビジネスで具現した日米欧81人(オルタナ28号2012.3.31発行)に選出  
2013年3月 アショカ・フェローに代表川添が選出(2013.03)  
2013年6月 「日経ソーシャルイニシアチブ大賞2013」国内部門賞を受賞  
2014年11月 医療の質・安全学会主催第8回「新しい医療のかたち賞」受賞  
2016年6月 経済産業省「はばたく中小企業・小規模事業社300社」に選定  
2017年4月 「グリーン・オーシャン大賞」優秀賞 受賞(オルタナ48号2017.04.30号)  
2020年5月 日本看護協会将来ビジョン検討委員に代表川添が就任

## 支援企業・団体一覧



Orchestrating a brighter world



経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry



日本貿易振興機構(ジェトロ)



学校法人 東京農業大学  
東京情報大学



BLUE WING  
WINGS FOR CHANGE

医療法人社団 悠翔会  
24時間対応 在宅医療ネットワーク

CAN-GO!

新卒・新人 訪問看護師応援サイト

超高齢多死社会に向けて、在宅医療の充実が求められる中、2014年1月30日、新卒や新人の訪問看護師を応援するためのWEBサイトを立ち上げました。